

## 小学校第4学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 ことばの大切さ 2-(2) 思いやり
- 2 資料名 「おせなかったボタン」(自作資料)
- 3 主題設定の理由

○ ねらいとする価値について

インターネットや携帯電話の急激な普及に伴って、児童・生徒が事件を起こしたり、事件に巻き込まれたりする事例が増加してきた。情報ツールを使ったコミュニケーションでは、匿名性が高いことが要因の一つとして考えられる。また、情報の影の部分についての指導が十分になされてこなかったことも背景の一つに挙げられる。児童がより良い人間関係を築いていくためには、時と場をわきまえた適切な言動や相手の立場に立った思いやりの心が大切であると考えられる。

○ 児童の実態について

本学級の児童は、4年生当初、ささいなことで口論となったり、喧嘩となったりする場面が多く見られた。より良い人間関係を築くためのエクササイズや仲間づくりを大切にしていた学級経営により1学期に比べて落ち着いてきている。だが、時と場をわきまえることが難しく、自分本位な言動も見られ、友達同士のいさかきも見受けられる。悪口に関するアンケートによると、70%以上の児童が悪口を言ったり、言われたりしていやな思いをしている。

○ 資料について

あさみは、アニメとコンピュータが大好きな4年生の女の子である。ある日友達から、仲の良いたかこが、自分の悪口を言っていたとかなえに教えられる。思い悩みながらも、なかなかたかこに理由を聞くことができない。その夜、衝動的に掲示板にたかこへの悪口を書き込んでしまう。自分が書いた悪口を見直して、自己の行為を省みるという内容である。

○ 情報モラル教育の視点

情報モラルに関する実態調査によると、80%以上の児童の家庭にコンピュータがあり、その半数がインターネットに接続できる環境にあることが分かった。家庭における児童の情報ツールの使用率は、10%程度にとどまっているものの、今後、使用率は、増加することが予想される。この資料では、衝動的な主人公の言動が、情報ツールによる広範囲の伝播性から、いかに責任の重いものかをとらえさせるようにする。そして、生活していく中で、相手の立場に立った言動やコミュニケーションの大切さを考えさせるようにしたい。

○ 指導の手立て

本時の指導に当たっては、総合的な学習の時間に事前にハイパーキューブねっとJrを使用して掲示板への書き込みや返信などの活動を体験させておく。導入では、悪口に関するアンケートを紹介し、たくさんの人が悪口を言われたり言ったりしていることを知らせ悪口に対する現状を認識させる。

展開では、まず、主人公のインターネットの掲示板に夢中になっている気持ちや友達から悪口を言われたときの気持ちに共感させたい。そして、衝動的に行動してしまった主人公が、はっと我に返ったときの気持ちを話し合わせ、友達のことを思いやり信頼し合いたいという道徳的心情を高めたい。そのことが、相手の立場に立ち思いやりの心をもって、適切な言動をとろうとする態度につながると考える。

- 4 本時のねらい

あさみが掲示板に書き込みをしようとしてやめる心の動きを考えることで、思いやりの心を持ち、相手の立場に立って接しようとする態度を育てる。

5 本時の展開

◎：中心発問 ☆：情報モラルにかかわる発問

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入 / 展開 / 終末	1 悪口の経験を想起する。	○ 悪口を言われたり、言ったりした経験がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪口に関するアンケートの結果を提示し、価値への方向付けをする。</li> </ul>
	2 資料「おせなかつたボタン」について話し合う。	○ 主人公あさみさんの気持ちを考えながら聞きましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は、あさみの心情を考えさせるため、読み聞かせをしながら、途中に発問を入れて提示していく。</li> </ul>
	(1) 掲示板に書き込みをしているときのあさみの気持ちを考える。  (2) かなえからたかこが悪口を言っているとき聞いたときの気持ちを考える。	○ あさみさんが、近ごろ掲示板に凝っているのはどうしてでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しいから。</li> <li>アニメとパソコンが好きだから。</li> <li>すぐに返事が来るから。</li> </ul> ○ かなえさんからたかこさんが悪口を言っていることを聞いたとき、あさみさんは、どんなことを考えたでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>信じられない。</li> <li>仲が良いのに、どうして。</li> <li>私が何かしたのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前の掲示板の体験活動を想起させ、メールのやり取りなどの楽しかったことや情報ツールが便利な道具であることをとらえさせる。</li> <li>仲の良いたかこから悪口を言われ、あさみの信じられないという思いをとらえさせる。</li> <li>はっきりとたかこに聞きたいが、怖くて聞けない気持ちをあさみの言動を手掛かりにして考えさせる。</li> </ul>
	(3) たかこへの悪口を書き込んだ画面を見たときのあさみの気持ちを考える。	◎ ☆自分が書き込んだ掲示板を見て、あさみさんがはっとしたのはどうしてでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>もし、これをたかこさんが見たら悲しむ。</li> <li>自分がされたらいやだろなあ。</li> <li>確かめもしないでひどいことを書いてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たかこのところに自分の名前を入れて読んでみることで、悪口を書き込まれたときの気持ちを考えさせる。</li> <li>あさみの葛藤する心情に気付かせ、どのように解決していったら良いか考えさせる。</li> <li>掲示板に書き込むことで、たくさん人の目に触れる可能性のあることをとらえさせる。</li> </ul>
3 自己の生活を振り返る。	○ 友達から悪口を言われたとき、どんな気持ちでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪口を言われた人の気持ちを考えさせ、相手の立場に立った言動を心掛けることの大切さに気付かせる。</li> </ul>	
4 教師の説話を聞く。	○ 掲示板のよさや怖さを考えながら先生の話聞いてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示板やメールなどのプラス面やマイナス面の話をし、相手のことを考えて、普段からコミュニケーションを行おうとする心情を高める。</li> </ul>	